

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果（加古川市が所管するもの）

※次の各表における耐震診断の結果は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの建築物も、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※「耐震改修等の予定」欄には、「大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」（末尾の附表の区分Ⅲ）と評価される場合には、耐震改修等の必要がないことから「－」を、それ以外の場合であっても、耐震改修等の予定がある場合はその内容を記載している。

■学校（小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校）

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	加古川市立氷丘小学校	加古川市加古川町中津886-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{so}=1.06$ $C_{10} \cdot S_D=0.33$	－	－	U=1.16
2	加古川市立平岡小学校	加古川市平岡町高畑164-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_D=0.33$	－	－	U=1.16
3	加古川市立尾上小学校	加古川市尾上町長田519	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{10} \cdot S_D=0.33$	－	－	U=1.16
4	加古川市立別府小学校	加古川市別府町西町1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_D=0.30$	－	－	U=1.16
5	加古川市立陵北小学校	加古川市新神野5丁目1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{10} \cdot S_D=0.31$	－	－	U=1.16
6	加古川市立平岡南小学校	加古川市平岡町二俣180	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_{10} \cdot S_D=0.48$	－	－	U=1.16
7	加古川市立浜の宮小学校	加古川市尾上町口里770-37	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{10} \cdot S_D=0.33$	－	－	U=1.16
8	加古川市立鳩里小学校	加古川市加古川町稲屋81	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.25$ $C_{10} \cdot S_D=0.36$	－	－	U=1.16
9	加古川市立平岡東小学校	加古川市平岡町土山109	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{10} \cdot S_D=0.39$	－	－	U=1.16
10	加古川市立野口北小学校	加古川市野口町北野1110	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{10} \cdot S_D=0.34$	－	－	U=1.16
11	加古川市立志方小学校	加古川市志方町志方町1050	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{10} \cdot S_D=0.39$	－	－	U=1.16
12	加古川市立氷丘南小学校	加古川市加古川町溝之口246	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{10} \cdot S_D=0.32$	－	－	U=1.16
13	加古川市立平岡北小学校	加古川市平岡町新在家1327-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{10} \cdot S_D=0.34$	－	－	U=1.16
14	加古川市立加古川中学校	加古川市加古川町備後203	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{10} \cdot S_D=0.48$	－	－	U=1.16
15	加古川市立平岡中学校	加古川市平岡町新在家1801	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.13$ $C_{10} \cdot S_D=0.41$	－	－	U=1.16
16	加古川市立氷丘中学校	加古川市加古川町大野845	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{10} \cdot S_D=0.35$	－	－	U=1.16

■学校（小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校）

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
17	加古川市立神吉中学校	加古川市東神吉町神吉591-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{10} \cdot S_b=0.33$	-	-	U=1.16
18	加古川市立志方中学校	加古川市志方町志方町字宮山内地内	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_r \cdot S_b=0.31$	-	-	U=1.16
19	加古川市立加古川養護学校	加古川市上荘町見土呂34-1	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_r \cdot S_b=0.30$	-	-	U=1.16

■病院、診療所

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	甲南加古川病院	加古川市神野町西条1545-1	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{10} \cdot S_b=0.35$	-	-	

■集会所、公会堂

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	加古川市民会館	加古川市加古川町北在家2000	集会所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2001年版）	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{10} \cdot S_b=0.85$	-	-	U=1.25

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_r \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq C_r \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 \leq C_r \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{R1} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{R1} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が非充腹材の場合)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{R2} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{R2} \cdot S_D$

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※表に掲げる補正係数 Z、R_t、G、Uについては、備考欄に記載のある場合を除き1.0である。